



住宅居住者の皆さまへ

長年使用していなかった給排水管を使用する場合の注意事項

滝山住宅管理組合

住宅内の給排水管は長年使用していないと内部の腐食により亀裂・割れ・詰まりが発生して漏水の原因となります。そのため、使用を開始する場合には以下の注意事項を守ってください。

1. 給水管について

水道メーター付近にあるストップバルブ（止水弁）を開く場合には、予め室内の台所や洗面所の蛇口を開けておいてください。もし、全ての蛇口を止めたままストップバルブを開いてしまうと、管内に残っていた空気が圧縮されて管や接手を損傷させる恐れがあります。室内のどこかの蛇口を開けておくことで空気が逃げて管内に圧力がかかりません。

また、ストップバルブを開く場合には必ずノブが止まるまで回し続けて下さい。中途半端に開放すると弁が水流で摩耗して、閉めた時に完全に止水できなくなります。

2. 排水管について

初めて使用する時には念のため階下の居住者の方に声を掛けて下さい。漏水した場合の被害を最小限にとどめるためです。

また、トイレの汚水管や洗面排水管、浴室排水管、台所排水管など、目に見える範囲で管に腐食・亀裂・割れなどが発生していないか確認してください。